

【机上講座】令和29年6月8日(土)13:00~17:00 北浦和カルタスホール

◆講義内容 山登り準備、計画の立て方、山の選定、ルートの選定、山行中のパーティの役割、歩行術など基本的な技術及び注意事項を学ぶ

◆感想 「計画から下山まで」の具体例として1月山行の写真を交えながら(うどん美味しそう)説明を受けた。「遭難回避のため」にWebでの天候予測、各県警のWeb情報により、時間や危険箇所を山行前にシュミレーションして、計画書の段階で地図を読み「山の特性」「危険箇所」を知るために計画書が大変重要であることを知った。班割で、班長・記録係を決定し、全員で地図に赤線を引き「コンパスを振る」作業で方向確認を行った。

【実技講座】令和29年6月9日(日)場所:栃木県大平山 コース(歩行時間 約4時間)

大平下駅9:01着—9:22出発—大中寺P10:02着ストレッチ後10:15発—林道登山口10:40発—晃石神社11:23着—昼食後12:00発—山頂12:10着—グミの木峠12:47着—大平山13:15着—休憩後13:20発—大平山神社13:40着—謙信平14:10着—客人神社14:27着—コンビニ14:30着

◆感想 宇都宮利用メンバーは、電車内でロープ講座。最初は手品のように感じられたが結べると嬉しい。

大平下駅で東武日光線利用メンバーと合流。小雨のため、上下雨具を着用したり出発準備をするが、下の雨具は不要との指示。昨日の講義で歩き始めは肌寒いくらいで、山は基本重ね着で体温調節が大切なことを登山中にさらに実感。地図上でコンパスをあてて目標方向を確認後、出発。

3班は踏切を渡った地点で、再度「コンパスを振り」方向を確認。

池の釣り人を横目に、ぶどう畑の歩道沿いを歩いて大中寺駐車場に到着。皆で輪になってストレッチを入念に行い、ここでも「コンパスを振り」登山方向を確認後、班単位で出発。

出発してすぐの水路横の細い道は「ここで落ちたらシャレにならない」というほど注意して歩いた。まだ見頃でなく、ちらほら咲くあじさいの林道を愛でながら登山口へ到着。

小林先生、若林先生と班員で「コンパスを振り」登山開始。膝を柔軟に使い、体の重心は前足と後ろ足の間にと姿勢と足を置く位置を見極めながら一步一步、呼吸が上がらない程度で進む。

最初は前後の人と会話できる速度で、お互いに「登山学校申し込みの経緯や登山歴、次の登山計画は？」などを話しつつ、小雨で滑りそうな足場を気かけながら前の人の歩行どおりに進む。

途中、蒸し暑さに雨具を着ていた人は着脱。上りが急こう配になり、汗ばんだ頃に晃石山に到着。班ごとに持参した弁当で昼食。お湯を持参しスープや小ラーメン昼食の方もいて、山行中は汗ばむが、留まると寒く感じる小雨天候の日、お湯持参で体を温める食事を取ることもいいのだなと感じた。途中、見晴らしのいいパラグライダーランデグPで立ち休憩、下り上りを繰り返しながら、アンテナ、大平山へ。下山時は、心配していた膝下痛みが再発し、先生方に膝の処置方法や焦らずに階段でない足場を選んで頂いたり、励ましがあつたお蔭で遅れながらも班に合流できた。全体でストレッチ後、悪天候にもならず、山行計画の大きな後れなく無事実技終了の総評を頂いて解散。山行中のパーティの役割や歩行確認の実技などを継続して学びながら、今後も班員の皆さんや先生方と会話を重ね、楽しく登山して行きたいと思う一日でした。今後ともよろしく願いいたします。